

水道ビジョン基本方向の達成状況について

〔水道ビジョンに掲げた基本方向6S達成状況評価〕

	水道ビジョン基本方向	H19	H20	H21	H22
1	危機管理による安全重視の水道	A (3.0)	A (3.2)	A (3.2)	A (3.0)
2	安定的な給水の確保	A (3.0)	A (3.2)	A (3.2)	A (3.2)
3	安心して飲める良質な水の供給	A (3.0)	A (3.0)	A (3.0)	A (3.3)
4	お客さまへのサービスの向上	A (2.8)	A (3.0)	A (3.0)	A (3.0)
5	官民の役割の分担・協働	A (2.7)	A (2.7)	A (3.3)	A (2.7)
6	省エネルギーによる環境保全	A (3.0)	A (3.0)	A (3.0)	A (3.0)

評価	評価点	説明
SS	5 (優)	目標を大幅に上回る達成
S	4 (良)	目標を上回る達成
A	3 (可)	目標どおりの達成
B	2 (不良)	目標をわずかに下回った
C	1 (不可)	目標を著しく下回った

※小数点以下四捨五入で算出

水道ビジョン基本方向	評価	基本施策	評価	計画主要施策	評価	H19	H20	H21	H22	H23	H24			
危機管理による安全重視の水道 〔Safety〕	A	1 危機管理体制の強化	A	危機管理体制の整備	S						継続			
				応急給水対策の推進	A						継続			
				施設の警備体制の強化	A						継続			
		2 応急給水拠点・緊急対応設備の整備	A		A	応急給水拠点・緊急対応設備の整備	A						継続	
						3 送水ルートの強化	A	水源の二重化	-	完了				
				送水ルートのバックアップ機能の強化	A						継続			
		4 施設・管網の耐震性の向上	A		A	浄水・配水施設の耐震強化	A						継続	
						管路の計画的・効率的な耐震化	A						継続	
		5 水道技術の継承	A		A	教育・訓練環境の整備	A						継続	
						技術の継承	A						継続	
		6 広域連携による災害・事故対策の推進	A		A	関係事業体間の相互応援協力体制の拡充	A						継続	
						ライフライン事業者間のリスク管理の連携	A						継続	
安定的な給水の確保 〔Stability〕	A	7 老朽化した浄水施設等の計画的・効率的な更新	A	A	浄水施設・配水施設の計画的・効率的な更新・改良	A						継続		
													8 管路(導・送・配水管)の老朽化対策の推進	A
		9 持続可能な経営の推進	A		A	継続的な経営改革	A							継続
						企業債残高の縮減	A						継続	
						水道事業がイドラインを活用した経営分析手法の構築	-	完了						
						経営評価システムの構築	A					継続		
		10 スリムで効率的な執行体制の構築	S		A	職員定員管理の適正化	S						継続	
						上下水道事業の組織統合	A						継続	
		11 効率的な維持管理の推進	A		A	施設・管路等の適切な維持管理	A						継続	
						ライフサイクルコストの低減に配慮した施設整備、機器・設備の購入	A						継続	
安心して飲める良質な水の供給 〔Security〕	A	12 水質管理体制の強化	A	水道GLP、水質検査計画に基づく水質管理体制の強化	A						継続			
				水質管理の共同化	A						継続			
		13 鉛管解消の推進	A	鉛管解消の推進	A						継続			
お客さまへのサービスの向上 〔Service〕	A	14 小規模貯水槽の点検の実施	S	A	小規模貯水槽の点検	S						継続		
													15 低廉な料金の維持・受益と負担の適正化	A
		16 窓口サービス・料金支払いの利便性の向上	A		A	窓口サービス・料金支払いの利便性の向上	-	完了						
						多様な収納方法の検討	A						継続	
17 直結給水の拡大	A		A	直結給水の拡大	A							継続		
													18 積極的な情報提供と水道水によるPR活動の推進	A
		水道水によるPR活動の推進	A						継続					
官民の役割の分担・協働 〔Sharing〕	A	19 民間委託等の推進	A	民間委託等の拡大	A							継続		
				施設整備の民間活力導入	A						継続			
		20 多様な主体との応援協力体制の確立	B	市民等との協働による災害応援協力体制の確立	B						継続			
21 市民との協働の推進	A		A	市民参加・協働による親しみのある水道事業活動の展開	A							継続		
				市民参加による水質検査	A						継続			
省エネルギーによる環境保全 〔Saving〕	A	22 環境保全活動の推進	A	施設の省エネ対策の推進	A							継続		
				建設副産物等の再生利用の推進	A						継続			
		23 広域連携による環境保全の推進	A	各種関係団体との協力による積極的な環境保全活動	A							継続		